

頑丈な車体がすくコナゴナ!



ここがシュレッダーの入り口!

▲大きな重機で次々と運搬

ステップ1 「どんどん細かく!」破砕

1 重機で運搬
第1回の「解体工場編」で見たとように、まだ使える部品を取り外した車は、重機でしゃんこにされる。そのつぶされた車体が運ばれる先が破砕工場なんだ。この日も、たくさんの車体がトラックで工場の中に運び込まれていたよ。

2 シュレッダーで細かく
とっても頑丈な車体を粉々にできるシュレッダー。いったいどんな仕組みで動いているんだらう? 案内してくれた金田さんに聞くと、「ここにあって細かく砕かれる。ここで活躍するのが「タワローダー」と呼ばれる大型の重機! 滑り台のようなシュレッダーの投入口に、どんどん車体を入れていくよ。この工場では、大きな



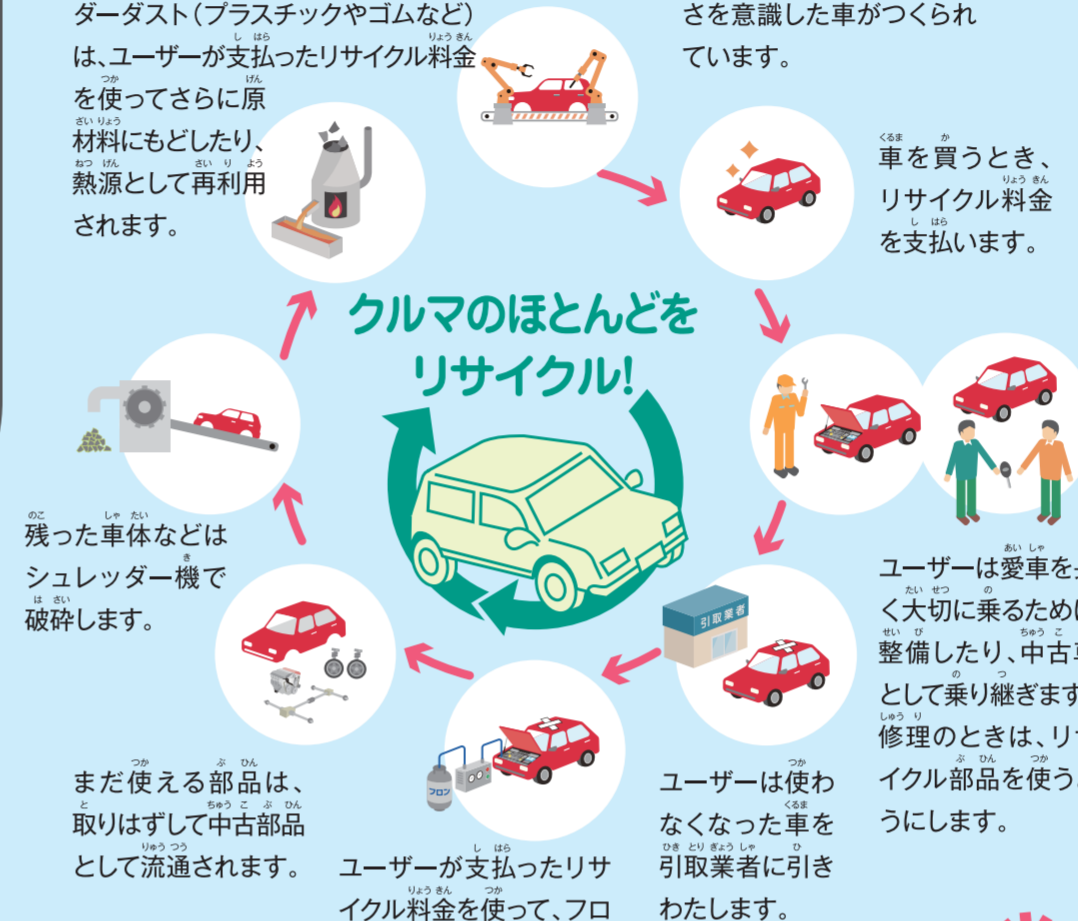
資源を無駄なく回収!

クルマのリサイクルの流れ



金属類は原材料にもさまざまな製品に使われます。残ったシュレターダスト(プラスチックやゴムなど)は、ユーザーが支払ったリサイクル料金を使ってさらに原材料にもどしたり、熱源として再利用されます。

天然資源の使用を少なくしたり、リサイクルのしやすさを意識した車がつくりられています。



「自動車はどうやってリサイクルされているの?」という疑問を解決するために、さまざまなリサイクルの現場を訪ねる「クルマのリサイクル」シリーズ。2回目の今回は、解体された車体を小さく砕いて金属資源を分別・回収する

「破砕工場」にやってきたよ!

第1回の「解体工場」で処理された車体は、破砕工場に運ばれて、鉄やアルミニウム、銅などの資源を分別・回収するんだよ。

今回訪れた株式会社鈴木商会さんは、北海道内にたくさんある「スゴイ会社」いろいろな金属資源で作られた車からどうやって鉄・アルミ・銅などに分別回収しているのかな? みんなで一緒に見てみよう!

地球のために! 未来のために! フルマのリサイクル

見て・聞いて・学ぼう!

vol.2

は さい 破砕 編

シュレッダーダストも活用

車体から金属資源が回収されると、主にプラスチックやゴムなどが残る。これらは「シュレッダーダスト」と呼ばれ、さらに細かい金属資源を回収したり、熱源等として活用したりして、ゴミの削減に努めているんだよ。

このシュレッダーダストの処理には、車のユーザーが支払ったリサイクル料金が使われているんだ。みんなの協力のもと、処理によって出る資源をほとんど全て活用しているから、車のリサイクル率は99%(車両重量で見た場合)に達しているよ。



大切な資源として使い切るよ!

今回は自動車販売編!



今回のまとめ
まだ使える部品が取り外された後の車体は、シュレッダーで細かく砕かれていた。その後、鉄などの金属を回収して、資源として再生していくんだね。最後に残ったシュレッダーダストまでリサイクルしているのもスゴイ!

高品質な資源に生まれ変わる



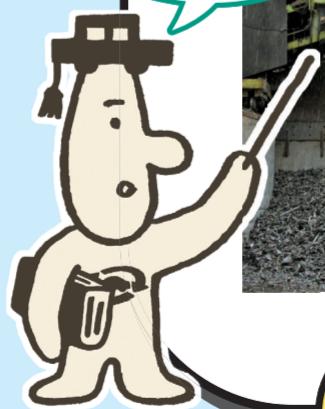
▲砕かれた車体は工場の中へ

ステップ2 「機械と人の目で...」分別

1 自動で資源を選別
バラバラになった車体は、資源を分別するための建物に入っていく。ここではまず磁石の力を使って、鉄とそれ以外の物質に分けるんだ。車は約7割が鉄で出来ているので、ここで半分以上の金属が回収できるよ。

2 最後は人の目で
自動選別を終えたあとの金属は、作業員さんたちの目の前を通るベルトコンベヤーに辿り着くよ。機械による選別だけではどうしても異物が取り除ききれないので、最終的には人の目で見極める必要があるんだ。こうして回収された金属は、純度が高いのが特長だよ。

工場の外には、選別後の鉄が山のように積まれていたよ!



▲最後は人の目でチェック

「クルマのリサイクル」について学んだことを「標語・ポスター」にして応募してみよう!!

「クルマのリサイクル」作品コンクール 標語・ポスター大募集!!
応募締め切り 2023年2/28(火)必着



こちらに伺いました!

お訪ねした会社

社名: 株式会社鈴木商会 石狩事業所
住所: 北海道石狩市
WEB: <https://www.suzuki-shokai.co.jp/>

さまざまな金属資源を無駄なく回収している企業だよ。これまで回収が難しいとされてきた資源を分別・回収する取り組みも行っているんだって!

